

# 第一回 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議

それは、未来をつくれるか。



## 自分ごと化会議とは

2022年12月18日  
構想日本 総括ディレクター  
伊藤 伸

1

## 自己紹介

JAPAN  
INITIATIVE  
構想日本

### 伊藤 伸

- 1978年北海道本別町生まれ。
- 2000年8月 衆議院議員秘書(京都事務所勤務)  
・ 当時は同志社大学4年生。
- 2004年2月 参議院議員秘書(国会事務所)と構想日本の兼職  
・ 8時から17時が秘書、17時から21時が構想日本(翌年4月から構想日本の常勤)
- 2009年10月 内閣府行政刷新会議事務局参事官(史上最年少参事官)  
・ 任期付の常勤国家公務員。いわゆる政治任用。事業仕分けなど行政改革全般を担当。
- 2013年2月 内閣府退職、構想日本総括ディレクター。
- 2013年9月～2020年3月 法政大学非常勤講師(「NPO論」)
- 2015年7月～ NPO法人「NPOサポートセンター」理事
- 2018年4月～ 法政大学大学院非常勤講師
- 2020年10月～2021年9月 内閣府政策参与(河野太郎大臣付)
- 2021年10月～ 内閣府政策参与(規制改革、行政改革担当)
- 2022年1月～ ワクチン担当兼務
- 2022年8月～ デジタル庁参与

### 【審議会等】

外務省「ODAに関する有識者懇談会」会長、内閣官房行政改革推進会議「歳出改革WG」委員、館山市行財政改革委員会委員長、京都府与謝野町行政改革推進委員会会長 など。

町民と行政、現場と制度、国と地方、官と民などをコーディネートする活動  
「リボルビングドア」の必要性

2

## 町民参加型（行政への町民参加）の手法

### これまで

#### 公募方式

広報紙等で募集し、町民からの応募によって決める方法。

#### <特徴>

意識の高い人の声を聞くことができる一方で、利害関係者が手を挙げたり、参加者が特定の人に固定化する傾向。

#### 推薦・一本釣り方式

団体からの推薦や首長の一本釣りで決める方法。

#### <特徴>

専門性の高い人や地域の有力者を選ぶことができる一方、毎回団体の長を選ぶことによる形骸化や参加者の固定化などの課題あり。

### これから

#### 公募方式

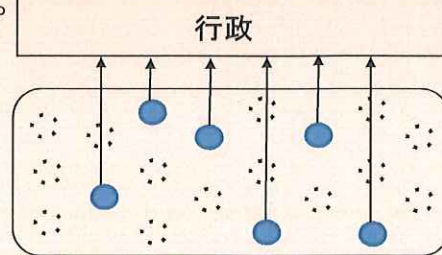
#### 推薦・一本釣り方式

#### 無作為抽出方式

無作為で抽出した町民に案内を送付し、その中の希望者が行政の取組みに参加する方法。

#### <特徴>

行政と接点の少なかった人、参加を躊躇していた人など、広範な町民の参加を望める。



参加手法を一つ追加するだけで、町民と行政の距離が大きく近づくことが期待できる。

3

## 自分ごと化会議とは①

### 【目的】

- 身近な問題を政治・行政任せにせず、住民自らが自分事として町の状況を知り意見を出し合う。
- 行政の取組について具体的に考え、課題解決を目指す。

### 【基本的な考え方】

#### (1)参加する住民の選び方が無作為抽出

- 住民基本台帳や選挙人名簿から、無作為に抽出した住民に案内を送付し、応募のあった人が参加者として参加する。

#### (2)地域の課題について、生活から見える現象をもとに住民間で議論

- 進め方のシナリオは一切作らない。参加する住民の発言から論点生まれ議論を発展させていく。
- 行政への批判だけではなく、提案するための議論になるよう、外部の人間がコーディネーターを務める。

#### (3)「個人でできること」「地域でできること」から考える

- 行政や各種団体への要望に終始するのではなく、課題解決のためにまずは自分たちでできることから考える。
- 「言いつぱなし」で終わらないように、参加者は具体的な課題とその改善策を記入する。



住民の生活実感が議論の入口  
「何をすべきか」ではなく「自分はどうか」の議論

4

### 改善提案シート

第 分科会 名前:

あなたが考える現状の課題	その課題を解決する方法
<p>&lt;例&gt;</p> <p>公園が利用されていない</p>	<p>(住民の役割) —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人として</li> <li>知らない公園が多いので把握する</li> <li>・地域として</li> <li>草刈りなど、公園整備のサポートをする</li> <li>休憩用のベンチを提供する</li> </ul> <p>(行政の役割) —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちの中にある遊び場のマップを作成する</li> </ul> <p>(その他) —</p>

あなたが考える現状の課題	その課題を解決する方法
<p>議論をする中で参加委員が考えた現状の課題を記載。</p>	<p>(住民の役割) —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人としてできること</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">自助</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域としてできること</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">共助</div> <p>(行政の役割) —</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">公助</div> <p>(その他) —</p>

その課題を解決するにあたり、個人、地域、行政それぞれの役割を記載。

5

## 自分ごと化会議の主な実績

### 総合計画、総合戦略

総合計画	2015年度	滋賀県高島市
総合戦略	2015年度	茨城県行方市
総合戦略	2015年度	千葉県富津市
総合戦略	2015年度	香川県三木町
第2次総合戦略	2019年度	兵庫県川西市
総合計画	2019年度	北海道清水町
第2次総合戦略	2020年度	茨城県行方市
総合計画	2020年度	京都府福知山市

### 市民と行政の協働、条例検討

地域自治団体と行政	2014年度	福岡県大刀洗町
自治振興条例	2020年度	京都府長岡京市
地域づくり推進・協働条例	2020年度	群馬県富岡市

### エネルギー

原発	2018年度	島根県松江市 ※1
原発問題	2020年度	茨城県東海村
自然エネルギー	2020年度	島根県松江市 ※1

### 公共施設

コミュニティ施設	2016年度	神奈川県伊勢原市
学校跡地活用	2018年度	千葉県鴨川市
駅前再整備	2018年度	神奈川県伊勢原市
市民会館の建替	2018年度	静岡県湖西市
庁舎建設	2018年度	岡山県新庄村 ※2
公共施設個別計画	2019年度	千葉県君津市
市民プール	2019年度	岡山県津山市
コミュニティ施設	2019年度	和歌山県海南市
公園	2020年度	福岡県大刀洗町

### ごみ問題

ごみ行政	2014年度	福岡県大刀洗町
ごみ問題	2017年度	北海道恵庭市 ※2
ごみ減量	2018年度	群馬県太田市
ごみ減量	2021年度	鳥取県琴浦町
ごみ減量	2021年度	福岡県大刀洗町

### その他

防災	2016年度	福岡県大刀洗町
防災	2017年度	福岡県大刀洗町
防災	2016年度	静岡県浜松市
オリンピックの町	2018年度	北海道幕別町
暮らしの中の鉄道	2018年度	福岡県大刀洗町
関係人口	2019年度	鹿児島県志布志市
情報共有	2019年度	群馬県太田市
公共交通	2020年度	鳥取県琴浦町
働きやすい街	2020年度	群馬県太田市
地域コミュニティ	2021年度	群馬県太田市

### 健康、福祉、子育て

地域包括ケア	2014年度	福岡県大刀洗町
子育て支援	2015年度	福岡県大刀洗町
健康づくり	2017年度	群馬県太田市
子育て環境	2018年度	東京都杉並区 ※2
子どもの遊び場	2019年度	群馬県富岡市
健康づくり	2019年度	福岡県大刀洗町
介護・高齢者福祉	2020年度	岡山県新庄村 ※2

全国77自治体で自分ごと化会議を168回開催。  
議論に参加した住民は約1万人！

※1: 住民団体主催、※2: 議会・会派主催

# 自分ごと化会議のおおまかな流れ

無作為に抽出した住民に会議参加のご案内  
住民基本台帳をベースに2000人（16歳～75歳）を抽出・送付、応募者44人が参加者となる。

2022年  
12月

＜第1回：把握＞  
本会議の趣旨説明  
テーマの現状把握

- 会議の目的、進め方の説明
- 参加者の自己紹介
- 【目標】  
テーマに関する地域の現状や、参加者の問題意識などを共有する。

2023年  
1月

＜第2回：発散①＞  
特長・課題の発見・議論

- 参加者が新嵐山スカイパークについて感じる 特長や課題やその改善策などを議論する。
- 議論した内容を最終的にシートに記入する。
- 【目標】  
新嵐山スカイパークについての特長や課題や改善策を出し合う。

2023年  
2月

＜第3回：発散②＞  
テーマの継続議論

- 第2回の議論を取りまとめたものを参考にしながら、参加者が感じる特長・課題や改善策などを議論する。
- 議論した内容を最終的にシートに記入する。
- 【目標】  
多様な論点を出す。(集約はしない)

2023年  
3月

＜第4回：集約＞  
会議による意見とりまとめ

- これまでの議論をまとめた「提案書案」に対し、さらに意見を出し合い集約につなげていく。
- 集約後まとめたものが会議の「提案書」となる。
- 【目標】  
会議として共有できる内容を決める

＜最終＞

提案書の修正・提出

2023年  
3月末

提案書の作成、芽室町長へ提出

## 参加者の役割

### ① 自分ごと化会議参加者（無作為に選ばれた住民）

テーマについて、現状を把握し、普段の生活から感じることなどをもとに住民間で議論する。議論しながら感じたことを「改善提案シート」にまとめる。

### ② コーディネーター（進行役・構想日本）

議論の進行役および論点整理、必要に応じて論点の提示、事実関係の確認などを行う。

### ③ ナビゲーター（外部の視点からの論点提示役・外部有識者）

議論を行う際の論点提示役。専門的視点からの意見や視点の提供を行う。

→ 第3回に  
参加予定

### ④ 職員など

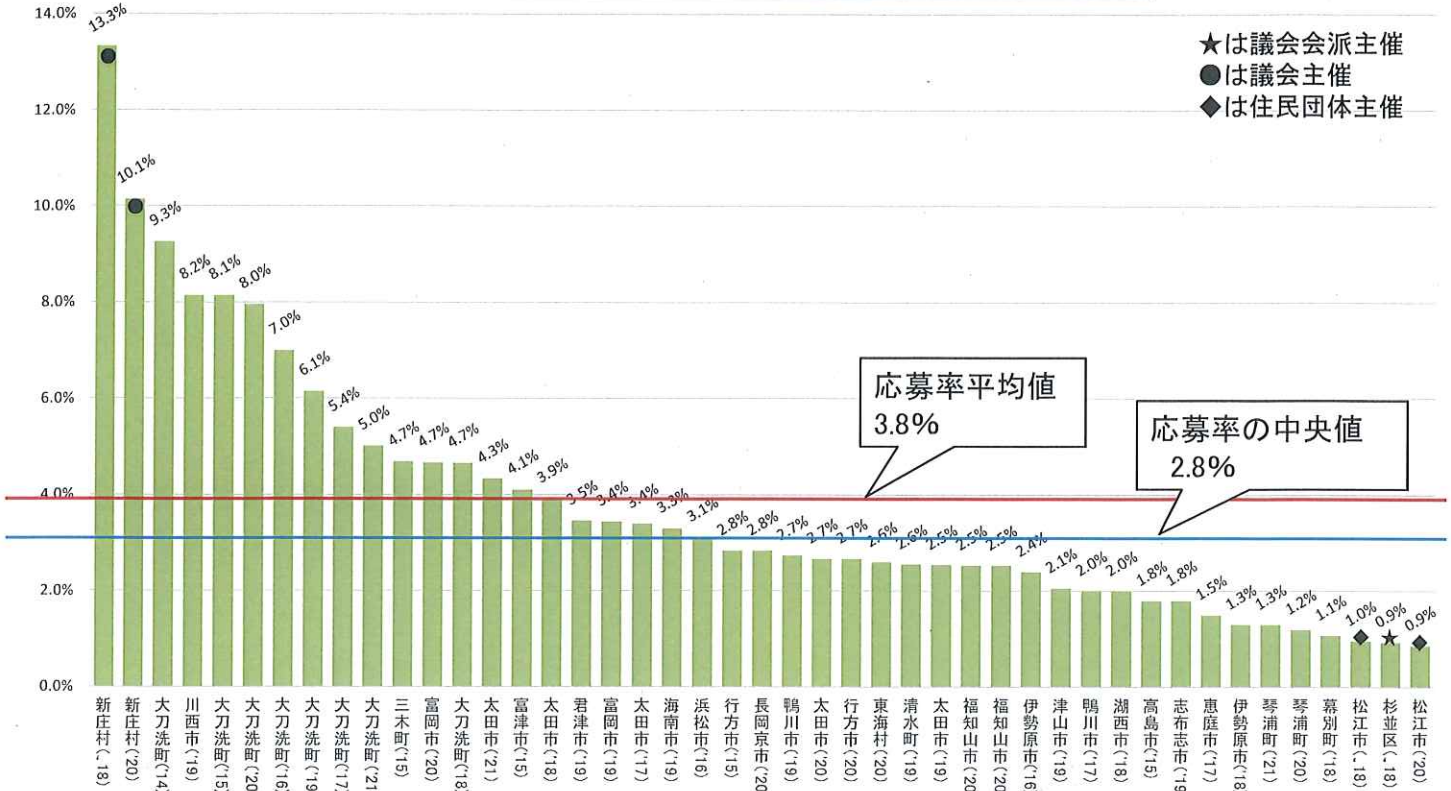
テーマに関係する職員が、地域の現状や行政の仕組みなどについて参加者への説明や、必要に応じて会議参加者との議論に参加。

### ⑤ 主催者（芽室町）

全体の進捗管理。必要に応じて発言。



# 住民協議会の応募率

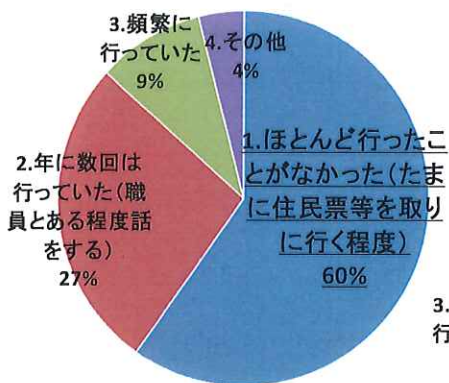


自治体によって応募率の差が大きい。芽室町は 2.2%

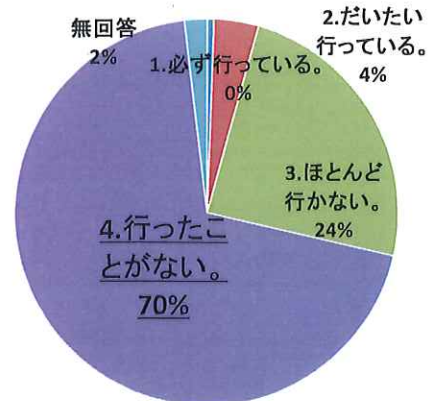
# 参考：自分ごと化会議参加住民アンケート

○「自分ごと化会議」に参加した住民へのアンケート結果\*より。

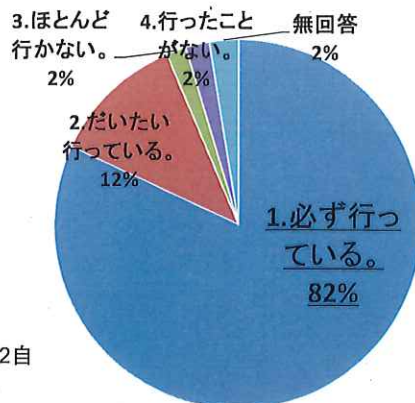
自分ごと化会議以前の役所との関わり頻度



議会の傍聴に行きますか？

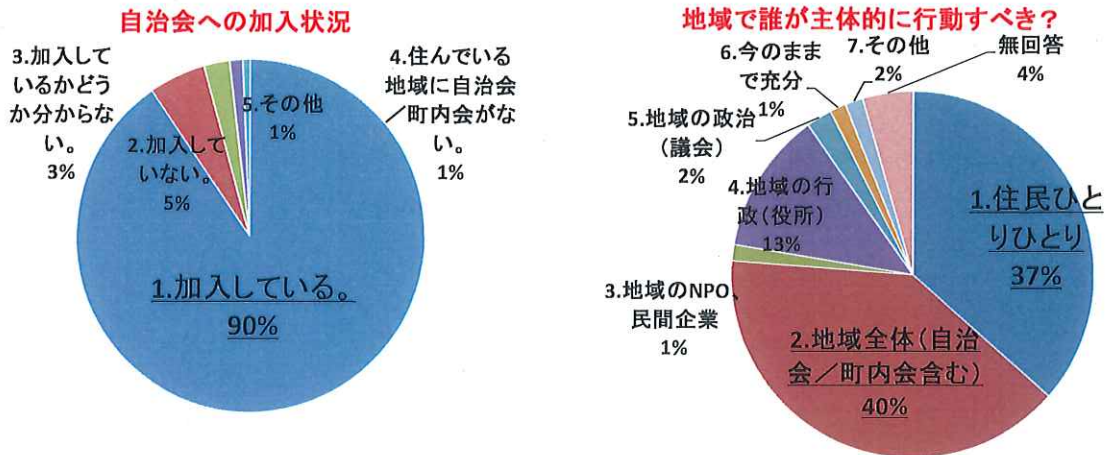


選挙の投票に行きますか？



\*2013,14年度に自分ごと化会議を実施した12自治体の住民約1,100名が対象。回答率52%。

## 参考：町民判定人アンケート



### アンケート結果から見える参加住民の特徴

1. 役所との接点が少ない
2. しかし、投票や自治会加入など社会的な関心は高い
3. 自助、共助の意識がきわめて高い

無作為抽出は、「意識は高いが、接点のない住民」を巻き込むことができる手法。

11

## 無作為抽出参加住民の「その後」

### <OB・OG会の結成>

#### ● 大刀洗町

これまで6回住民協議会を実施しOB・OGが約200名。その人たちでOBOG会を結成し、定期的に勉強会や懇親会を開催(2018年には町議会を「招待」して「若者と政治」をテーマに実施)。案内状の送付や会場設営などすべて住民が行っている。参加住民が一体化されていることが特徴。

#### ● 川西市

「歴史・文化の活かし方」をテーマに議論した市民の有志が、会議終了後数か月で「まちの宝物サポート隊」を結成。議論の中で出ていた「楽しく学ぶ」ことを具現化するため、「かわにしかるた」を作成(コロナ禍の重要な遊び道具として多くのメディアに取り上げられる)。現在もLINEグループを作って情報共有。

### <個人の変化>

1. 協議会に参加して以降、地域のことを「自分事」として考えることの必要性を感じて、自分が住む地域の「女子会」(勉強会)を結成。(富津市、40代女性)
2. 学校への関わりが必要だと感じ、PTA会長の選挙に立候補、就任。(大刀洗町、40代男性)
3. 行政の仕事に関心を持ち、公務員採用試験を受験。(大刀洗町、20代女性)
4. 協議会に参加したことで、心の病を患った自分の経験を活かせることもあると感じ、子育ての悩み相談に関するサークルを立ち上げた。(太田市、30代女性)
5. 参加していた市民の有志(もともと知り合いではない)で地域のことを考えるためのNPO法人を結成。

「自分ごと化」の先の行動の変化も起きている。

12

## 自分ごと化会議とは

### これからのまちづくりの基本的な考え方

いかに小さくして「質」を高めるか

- 町の規模
- 公共施設 など

財政的観点だけでなく、「住民のため」に規模を縮小することが大前提。

住民がいかに町のことを「自分ごと化」できるかがポイント

# 自分ごと化会議

多様な住民がしっかりと考え議論すれば、自ずと良い結論が導き出される。

私に関係ある？ ある！

## 自分ごと化会議の魅力を詰め込んだ一冊！

あなたも当たるかもしれない、「くじ引き民主主義」の時代へ



伊藤伸

河野太郎氏推薦！

コロナワクチン接種の遅延で、私の名前を覚えてくれたのが伊藤さんです。彼のおかげで1日160万回のワクチン接種が実現できました。この本には、常に現場に向き合って課題を解決しようとする伊藤さんの本音が詰まっています。現場と制度、国と地方、官と民、あらゆるものをコーディネートできるのは伊藤さんしかいません。 河野太郎



(本書抜粋)

「まちづくりや政策のことを考える会議の参加者候補に、抽選で当たりましたのでこの会議にご参加ください」——このような手紙が市町村役場から届いたら皆さんはどう感じられるだろうか？ 実は、こうした会議が、いま全国各地で行われている。くじで選ばれた参加者の生活実感からくるふとした一言や素朴な疑問は、政治や行政の「当たり前」を軽々と超えていく。

貴族院議員だった上山満之進の「多数無名の常民こそが歴史を作る」という言葉に非常に共感する。無作為に選ばれた市民による対話は、あらゆる課題を解決に向かわせている。本書によって、「多数無名の常民」のパワーを世の中に広め、全国至るところで、そして国においても「自分ごと化会議」が行えるよう、引き続き邁進したい。



購入はこちらから！(Amazon HP)